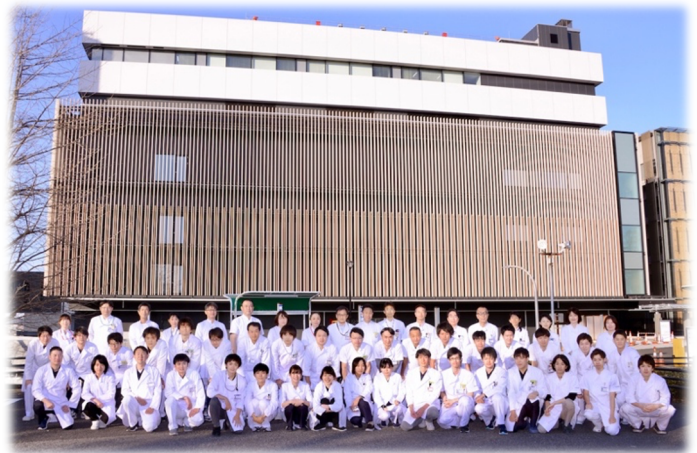




詳細情報はこちらから

【施設紹介】

千葉大学医学部附属病院の歴史は古く、明治7（1874）年に千葉町に共立病院が設立されたのが始まりで現在に至ります。2015年に新外来棟が開院し、有名なテレビドラマの舞台にもなりました。2021年1月には新中央診療棟が完成し、放射線部は一般撮影を除く全部門が集約されました。放射線部エリアには廊下・待合・検査室など患者動線全てに先進的な環境照明を導入し「先端医療技術を患者さんに優しく提供する」ことを第一としております。そして、放射線部がワンチームとなってより良い医療を提供できるよう、部員の一人一人が臨床や研究に励んでいます。



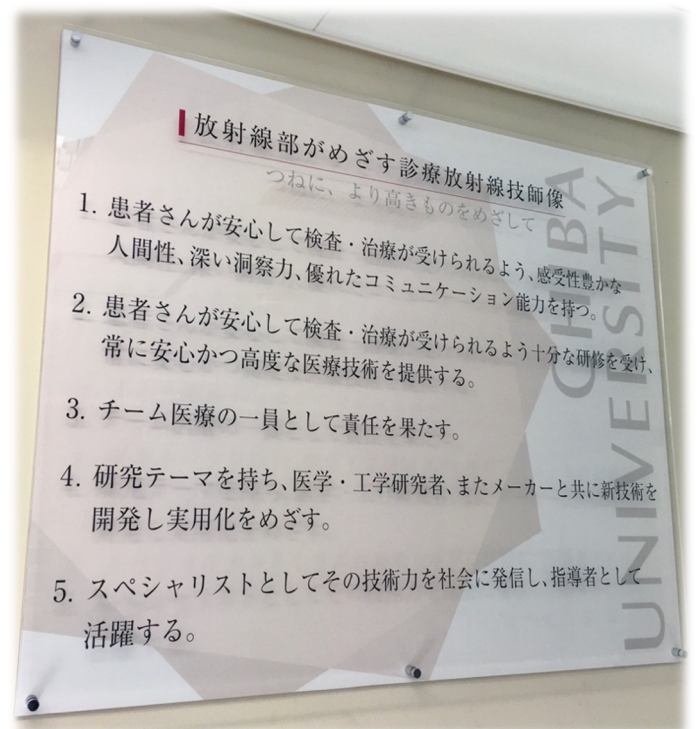
新中央診療棟を背景に全スタッフが集合

【組織管理体制】

放射線部には診療放射線技師が55人在籍しており、診療放射線技師長を中心に副診療放射線技師長4人、主任診療放射線技師7人、副主任診療放射線技師10人で組織の運営管理を行っています。毎朝 Web 方式で技師長および各部門の主任・副主任が連絡事項の確認と人員調整を行うミーティングや、毎週末、技師長と副技師長が集まり人員配置やローテーションおよび放射線部の運営方針を検討する人事調整会議などが開催され、その情報は常に部員にも情報共有されています。また各部門では医師や看護師等の関連職種を交えた部門ミーティングなども行い、他職種と連携を図りながら円滑な運営を心がけています。

【基本方針・基本理念】

千葉大学医学部附属病院は「人間の尊厳と先進医療の調和を目指し、臨床医学の発展と次世代を担う医療人の育成に努める」という理念の下、診療・研究・教育活動を行っています。放射線部では、千葉大学全体の理念でもある「つねに、より高きものを目指して」を掲げ、一人一人が自己研鑽に励みながら向上心を持って臨床と研究を行っています。専門資格の取得はもちろん、所属学会をはじめとする多くの講習会・研修会・研究会に参加し、お互いを刺激し合いながら個々の能力を向上させることで、高度な医療技術を提供することを目指しています。部員はただ撮影をするのではなく、医師を中心とするメディカルスタッフで構成するチームの一員として積極的にディスカッションをすることで、チームの中での診療放射線技師の役割を果たしています。



千葉大放射線部がめざす診療放射線技師像

【新人教育と若手人材育成】

新人教育体制には特徴があり、右図のように教育担当者と部門責任者が連携を密に取り教育に当たる、トライアングル方式を採用しています。新人は教育担当者との間で毎月目標を定め、1カ月ごとに達成度の評価を行い翌月の目標を定めるという、PDCA サイクルに基づく教育を行っています。また、新人は教育担当者から実務を通して教わるOJT (On-The-Job Training)、実務に伴う知識習得のため自ら学ぶSD (Self Development)、実務の場を離れて行う OFF-JT (Off-The-Job Training) の記録を残し、教育担当者や部門責任者と情報を共有します。教育担当者は、指導について計画・実践・評価を行うとともに、新人とコミュニケーションを取る中でさまざまな相談に乗りながら職業人としての手本となるため、自らの成長も促されるというシステムとなっています。そして毎月1回、技師長・教育責任者・教育担当者が集まり新人教育WGを開催し新人および若手技師の状況について情報共有しています。また、達成すべきモラルおよびスキルを細分化したチェックリストも活用しながら、感受性が豊かで深い洞察力を持ち、優れたコミュニケーション能力を有する診療放射線技師の育成に努めています。

【ここがすごいぞ千葉大学！（各部門と研究の特徴）】

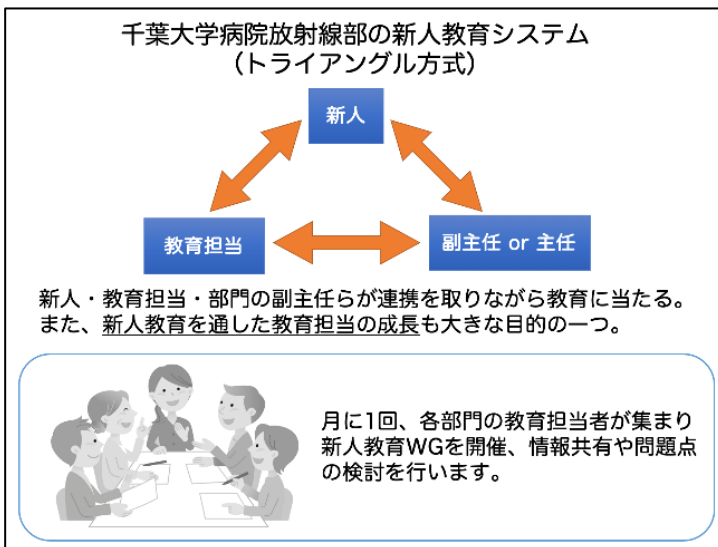
放射線部は6部門で構成されており、各部門で装置や解析技術の特徴を生かした検査・治療を行っています。

一般撮影では、全ての検査で FPD を使用しており、肺野の濃度変化を連続的に可視化し表示・解析が可能な動態撮影や、全ての胸部 X-P において肋骨・鎖骨減弱処理を施した画像を併せて配信しています。

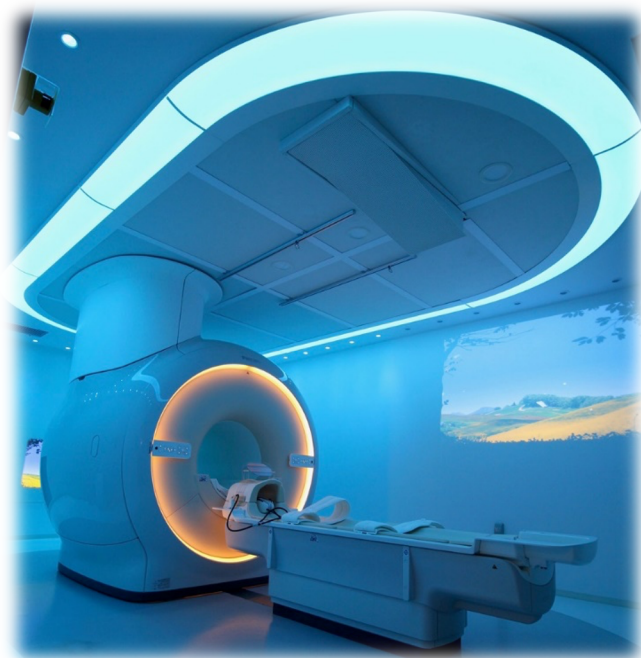
血管撮影では、頭部から足先まで多岐にわたる診断・治療を行っており、IVR に必要な画像処理技術を駆使した画像の提供をはじめ、周辺機器の操作も診療放射線技師が行うため、各診療科と密に連携を図りながら最適な診断と治療を行っています。また各種放射線測定機器を備えており、放射線管理・防護の最適化を行い、検査と治療に携わるメディカルスタッフに向けた放射線防護の研修活動も行っています。

MRI では、Ambient Experience システムを4室に導入しており、多彩な映像と音楽により、リラックスした状態で検査を受けることができる環境を整えています。

MRI には、診療放射線技師・クラークの他に専属の看護師が配置されており、検査室入室までの準備や対応、不安の強い患者さんに対しての心のケアなど、安心して安全な検査が可能な体制を取っています。また、



新人教育システムの概要



Ambient Experience System (MRI)

造影検査では看護師が処置室で事前に静脈確保することで検査全体の効率化を図っています。

CTでは、検査数が非常に多い中、多職種との連携を図り効率的な運用を行っています。CT4台のうち2台はDual Energyに対応しています。また、心臓CT、脳血管や肺血管の4DCTなど、さまざまな検査を各診療科の医師と検査内容を協議しながら安全で質の高い検査を行っています。

核医学では、他の施設と比べて副腎シンチグラフィ(皮質・髄質)・副甲状腺シンチグラフィなどの内分泌系の検査や、肺血流・換気シンチの検査が多いことが特徴です。また本院は、標準的脳機能画像解析法として世界中で利用されている3D-SSPの開発者である蓑島聡先生(現ユタ大学教授、米国核医学会会長)の出身大学でもあり、3D-SSPの日本版であるiSSPには、本院で撮像した¹²³I-IMP ノーマルデータベースが搭載されています。心臓の分野では、新規疾患である中性脂肪蓄積心筋血管症(TGCV)の検査として、心筋脂肪酸代謝シンチグラフィを数多く行っております。

放射線治療では、外照射と腔内照射を行っており、婦人科領域に対するMRI画像を用いた小線源治療や、組織内照射併用小線源治療を行っています。また、2021年12月から国内初導入となる高磁場MRリニアックシステムの運用が開始されました。

このように、各部門では最新で最適な放射線診療を行うために、それぞれの特徴を生かし日々の臨床を行っていますが、それを可能にするために、各分野での専門資格の取得にも力を入れています。第1種放射線取扱主任者をはじめ、多くの専門技師認定者が各部門に在籍しています。



MR リニアックシステム

さらに研究活動は全ての技師に対して推奨しており、特に新人の1年目ではその方法論を学ぶため、日本放射線技術学会の関東支部研究発表大会において発表をしています。個人での研究についても部員はそれぞれテーマを持って研究活動をしており、各診療科との共同研究はもとより、総合大学であることの強みを生かして、工学部・理学部・薬学部といった他の学部と連携しながら研究を行っています。最近では、人工知能(AI)を用いた研究も行っており、MRIでは良性骨折と悪性骨折の鑑別診断、核医学では減弱補正用CTを撮影せずに減弱補正を行う新たな手法の開発、医療情報では多種多様な検査の中で依頼間違いを事前に防ぐシステム開発などの研究も行っています。

本院に就職を希望される方には、対面だけでなくWeb方式のインターンシップも実施しています。詳しくは放射線部のHPをご参照ください。

専門資格を有する診療放射線技師一覧			第1種放射線取扱主任者免状取得者		
X線CT認定技師 <small>日本X線CT専門技師認定機構 認定</small> 太田 透二 入江 亮介 森本 良 川上 裕也	検診マングラフィ撮影認定診療放射線技師 <small>日本検診マングラフィ撮影認定管理中央機構 認定</small> 奥村 健一郎 服部 雅子 深谷 美絵	放射線治療専門放射線技師 <small>日本放射線治療専門放射線技師認定機構 認定</small> 黒川 正行 高橋 三幸 古山 良延 深谷 美絵 森本 良	梶田 善正 今井 博久 加藤 英幸 石井 昭之 奥村 健一郎 飯森 隆志 松本 浩史 太田 透二 安藤 浩樹 阿部 幸直 澤田 晃一 笠原 哲治		
血管造影インターベンション専門診療放射線技師 <small>日本血管造影インターベンション専門放射線技師認定機構 認定</small> 加藤 英幸 梅北 英夫 笠原 哲治 田岡 淳一 川崎 達哉 竹生 健太	核医学専門技師 <small>日本核医学専門技師認定機構 認定</small> 飯森 隆志 澤田 晃一 深谷 美絵 梅澤 隆部 村田 泰輔	放射線治療品質管理士 <small>放射線治療品質管理機構 認定</small> 黒川 正行 高橋 三幸 阿部 幸直 古山 良延 森本 良	入江 亮介 藤井 昭太 古山 良延 田岡 淳一 深谷 美絵 山岸 嘉希 池田 洋平 下川 賢二 梅澤 哲郎 川上 裕也 村田 泰輔 佐田 貴之 竹生 健太 川崎 達哉 依田 隆史 黒澤 隆部		
磁気共鳴専門技師 <small>日本磁気共鳴専門技師認定機構 認定</small> 梶田 善正 安藤 浩樹 池田 洋平 山岸 嘉希 下川 賢二 佐田 貴之 依田 隆史 黒澤 隆部	上級磁気共鳴専門技師 <small>日本上級磁気共鳴専門技師認定機構 認定</small> 松本 浩史	医学物理士 <small>医学物理士認定機構 認定</small> 阿部 幸直 古山 良延	横本 拓磨 松本 隆志 鈴木 祐貴 野沢 邦行 新田 圭介 林 佑理 井上 彩季 宮本 一輝 古宮 勝汰 伊藤 泉 竹村 敬 廣山 陽太 花田 流一		
	医療情報技師 <small>日本医療情報学会 認定</small> 石井 昭之 太田 透二 阿部 幸直 竹生 健太 川崎 達哉 野沢 邦行 廣山 陽太	救急撮影認定技師 <small>日本救急撮影技師認定機構 認定</small> 太田 透二 藤井 昭太			

専門資格を有する診療放射線技師一覧